

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 志免東教室 保護者等数(児童数)38 回収数 30 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	1		2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	1	5	人数が足りないのかなどと思うこともある。	人員を十分に確保していく。 専門性については各専門職スタッフにより、集団・個別にてローテーションを組み、今後も継続していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	2		15	バリアフリーとは真逆の構造だと思う。段差が大変多い。階段がとても急で大人でも怖い。出入りしている大きな窓がジャバラ式で危険だと感じる。開閉がスムーズじゃなさそうでおかしい。あちらこちらが壊れていて配慮されていない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	4		3	きれいで清潔感はあるが、発達障がいの子どもの活動や生活しやすい空間ではないと思う。設備が整っていないと思う。	今後も生活感を保持し環境をよりよく保っていく
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28	1		1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	2		2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	2				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30				毎月、いろいろなプログラムで楽しみ、それぞれの強みや弱みに合わせてたくさん体験をさせていただいて嬉しい。遠足や園外保育に連れて行ってもらう子どもたちが喜んでおり感謝している。	今後も保護者のニーズを汲みとったり必要な発達や経験の促進をねらい子どもたちが楽しみながら取り組める心描きがられる内容を考察し提案していく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	2	4	10	地域のイベント参加により交流がある様子。	積極的に町のイベントや交流会に参加し地域の中で認知共有の場でもらえるよう努めている。子どもたちにとっても交流の中で多くの人とのかわり方場に合う行動を身につける機会となっている。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	3		2	担当会議でできている	担外でもできるだけ経過や様子を伝えながら共有している。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	6	6	8	相談に対応してもらって助かっている	相談にはいつも保護者の立場となり寄り添っていきたくと考えている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	4	1	2	支援経過記録帳や送迎時に子どもの状況を詳しく教えてもらっている	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	6	2	2	担外や送迎時に助言や支援を得ています	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	7	10	そのような会は知らない	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	4		2	いつもお願ひに対応していただいている。相談に親身になって対応してもらって助かっている。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	6			連絡帳や送迎時、その他連絡ツールにて配慮されている。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	2		細かに配慮され、遠足や園外保育も安心です。各活動、行事の写真をもう少し送ってほしい。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	1		4		
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	2		6	門徒玄関が何年も壊れたままなので大変不安に感じている。早急な対応を要求したい。教室の出入りしている窓もジャバラ式で手をはさみそうでおこわい。このような施設に適さないのでは。しっかりと閉まらないようなので防犯面では大変不安。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	0		6	避難訓練では様々な災害に対応できるように行って安心	今後も様々な方法で多様な対応ができるよう毎月内容を考え提供していく。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	24	3		3	とても楽しみにしている。親も毎月プログラム予定を見ることが楽しみです。お迎えが来ると喜んで車に乗って行って帰ってきます。とても嬉しく思います。	
	23 事業所の支援に満足しているか	25	5			送迎時間の幅が1時間以上ありとても心配になる。到着時刻のお知らせが欲しい。子どもを愛情深く見守って下さり相談にいつもしっかりと対応して頂いて大変満足しています。日々	

522 62 23 83

76%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 志免東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3		
	2 職員の配置数は適切であるか	4	6	日々偏りなく専門職を配置できるよう努めている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	8	できるだけ職員の手で修理しながらなんとか頑張っている	門や玄関のかがはずれままだままで保護者様からのご意見も多く早急に対応していきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	8	掃除マニュアルを作成しており各所毎日清潔を保っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	4	互いに気づいた点を話し合っている	個々の目標設定や振り返りを定期的に行い改善すべき点を把握し実行できるよう努めたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		毎年自分たちでできる部分は改善している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	6		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		10		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		常時子どもたちのアセスメントを職員間でも行ったり、定期的に保護者からもとっている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		計画において常に使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		項目に分けて目標を立て、それに向けて日々達成を目指す	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	実行する前に意見は聞きつつも決定は別の人間が行うことで偏りを防いでいる	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		いつも新鮮で刺激の多い内容を取り入れ色とりどりのプログラムになるようにしている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	日々振り返りを行い共有している。	早い運動のパートナーへ伝達の漏れの内容LINEにて毎日日報をあげて参加させている。今後も継続
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		集団、個別、全てにおいて記録をとっている。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		モニタリングは定期的に行い現状の把握、計画変更の必要を意を判断している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10		できる限り共有できる関係性を築き、より子供の家庭状況等を把握支援できるようにしている	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10		医師、病院コーディネーター、役場、保険心理と連携している	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10		医ケア見なし	
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		保育園、幼稚園との連携をとり、園での担い手を行っている		

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		就学前調査、意見書には力を入れ詳細に作成している。役場、学校への情報共有も積極的に行っている。	継続
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			継続
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	9	機会を設けるのはむずかしい	継続
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10		地域のイベントには積極的に参加している	継続
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		日常より子どもの様子や発達について伝え合い共有している。	継続
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10		日常より共有しやすい関係づくりに努め、いつでも気軽にどんなことでも話しやすい場所とされるように努めている。	継続
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			継続
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		ねらい目標を明確に各専門職がそれに向けて達成できるようにしている	継続
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			継続
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2		継続
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			継続
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		継続
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			継続
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			継続
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10			継続
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10			継続
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			継続
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			継続
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			継続
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			継続
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			継続
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10			継続